

2.1.5.2 植物

(1) 陸上植物・大型水生植物

1) 植生

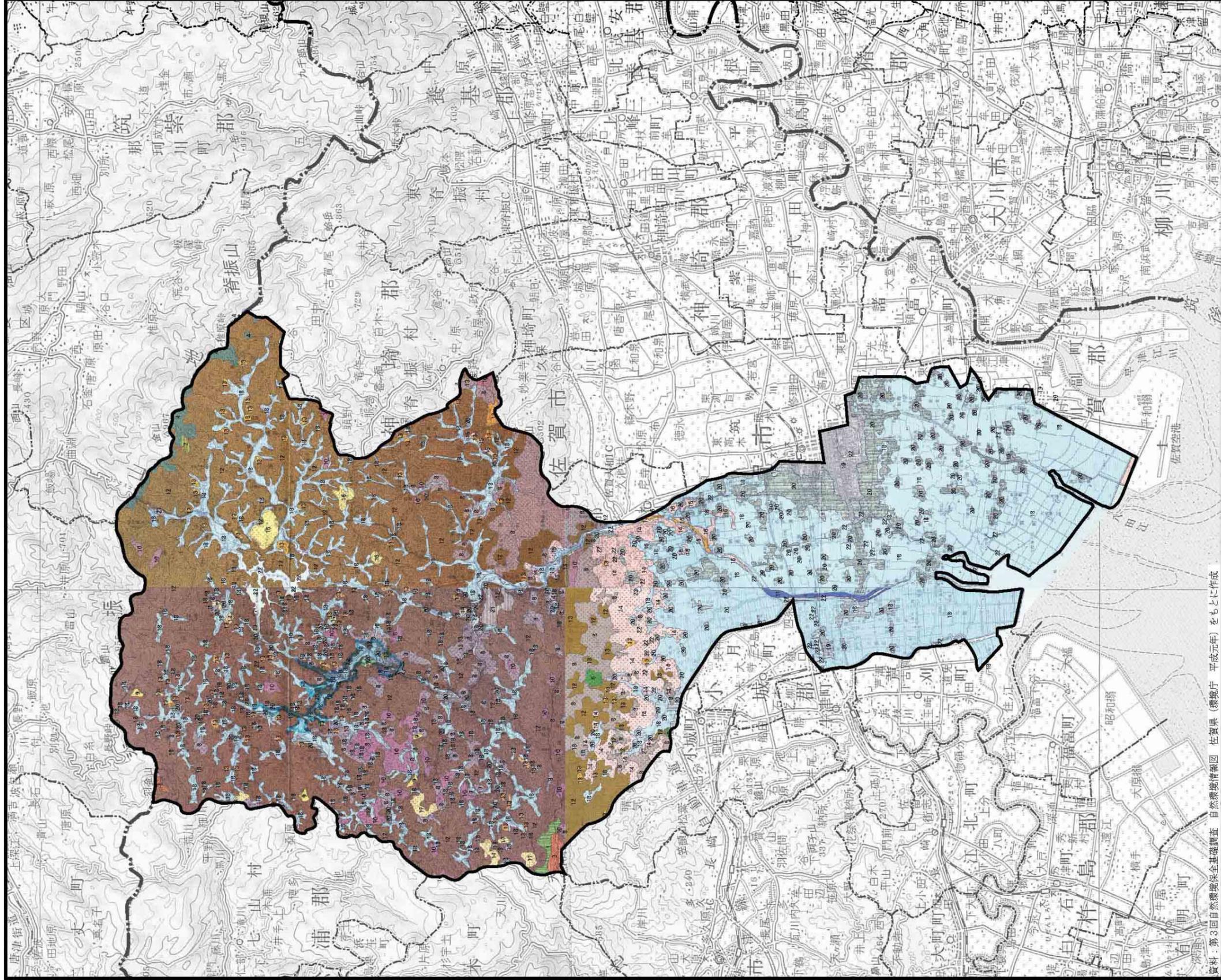
自然的状況の調査範囲の植生は、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報 図 佐賀県(環境庁 平成元年)」によると、図 2.1.5-5 に示すとおりであり、山地周辺が広い面積にわたってスギ・ヒノキの植林に置換えられている。植林されていない地域はそのほとんどが二次林であり、薪炭材を得るために繰り返し伐採されて二次林化したシイ・カシ萌芽林(優占種がスダジイ、アラカシ等の常緑広葉樹で切株からの多幹萌芽からなる群落)、落葉広葉樹のコナラ群落等が分布している。

嘉瀬川ダム周辺における現存植生は、嘉瀬川沿いには、自然度の高い群落であるツルヨシ群落が点在しているが、面積的なまとまりはみられない。また、丘陵地における嘉瀬川流域の植生は、スギ・ヒノキ植林によってそのほとんどの面積が占められており、スギ・ヒノキ植林に混じって常緑広葉樹林、落葉広葉樹林及びアカマツ林が点在している。なお、嘉瀬川の河川沿い、谷あいの狭窄部には水田耕作地が分布している。

なお、以下に示す a 及び b により重要な群落を選定したが、本調査では、嘉瀬川ダム周辺においてそれらの重要な群落は確認されなかった。

- a.文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)又は文化財保護条例(佐賀県条例(昭和 51 年条例第 22 号)、佐賀市条例(昭和 51 年条例第 37 号)、川副町条例(昭和 55 年条例第 12 号)、東与賀町条例(昭和 54 年条例第 21 号)、久保田町条例(昭和 55 年条例第 4 号)、大和町条例(昭和 57 年条例第 6 号)、富士町条例(平成 7 年条例第 2 号)、小城町条例(昭和 57 年条例第 33 号)、三日月町条例(平成 10 年条例第 19 号)、脊振村条例(昭和 62 年条例第 11 号)、三瀬村条例(平成 10 年条例第 33 号))に基づき指定された天然記念物
- b.「植物群落レッドデータブック(財団法人 日本自然保護協会・財団法人 世界自然保護基金日本委員会 1996 年 4 月)」に掲載されている群落

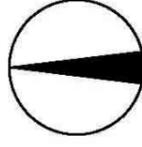
また、自然的状況の調査範囲の植物の分布について、「自然環境保全調査報告書(基礎調査) 佐賀県 すぐれた自然図(環境庁 昭和 50・51 年)」、「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 佐賀県(環境庁 昭和 56 年)」及び「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 佐賀県(環境庁 平成元年)」によると、図 2.1.5-6 に示すとおり、嘉瀬川河口のシチメンソウ、松尾山のシイ林、山王池のオニバス、清水のシイ林、羽金山のシナノキ群落等が分布している。



資料：第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 佐賀県（森鏡子 平成元年）をもとに作成

凡 例

-  : ダム堤体
-  : 貯水予定区域
-  : 自然的状況の調査範囲
-  : 県界
-  : 市町村界



1:140,000



図2.1.5-5(1)
自然環境保全基礎調査における
現存植生の分布

現存植生図凡例

V. ブナクラス域代償植生

Substitutional Communities in Fagetea crenatae Region

-  クリーミズナラ群落
Castanea crenata-Quercus mongolica var. grosseserrata community
-  アカシデアイヌシダ群落
Carpinus laxiflora-Carpinus tschonoskii community
-  アカシデアイヌシダ群落
Carpinus laxiflora-Carpinus tschonoskii community
-  ミヤコザサ群落
Sasa nipponica community
-  ミヤコザサ群落
Sasa nipponica community

VI. ヤブツバキクラス域自然植生

Natural Vegetation in Camellietea japonicae Region

-  アカガシ〜ヤマシキミ群落
Skimmio-Cyclobalanopsisium acutae
-  ケヤキ群落
Zelkova serrata community
-  ケヤキ群落
Zelkova serrata community
-  ミミズバイ〜スダジイ群落
Symploco glauca-Castanopsisium sieboldii
-  ミミズバイ〜スダジイ群落
Symploco glauca-Castanopsisium sieboldii

VII. ヤブツバキクラス域代償植生

Substitutional Communities in Camellietea japonicae Region

-  コナラ〜クリ群落
Quercus serrata-Castanea crenata community
-  シイ・カシ萌芽林
Castanopsis, Quercus coppice forest
-  シイ・カシ萌芽林
Castanopsis, Quercus coppice forest
-  シイ・カシ萌芽林
Castanopsis, Quercus coppice forest
-  シイ・カシ萌芽林
Castanopsis, Quercus coppice forest
-  ススキ群団
Miscanthion sinensis
-  ススキ群団
Miscanthion sinensis
-  ススキ群団
Miscanthion sinensis
-  ネザサ〜ススキ群落
Aruninarario-Miscanthetum sinensis
-  アカマツ群落
Pinus densiflora community
-  アカマツ群落
Pinus densiflora community
-  アカマツ群落
Pinus densiflora community
-  アカマツ群落
Pinus densiflora community

VIII. 河辺・溼原・塩沼地・砂丘植生(各クラス域共通)

River-side, Moor, Salt marsh and Dune

-  ヨシクラス
Phragmitetea
-  ヨシクラス
Phragmitetea
-  ヨシクラス
Phragmitetea

IX. 植林地, 耕作地植生(各クラス域共通)

Plantation and Cultural Land

-  スギ・ヒノキ・サワラ植林
Cryptomeria japonica, Chamaecyparis obtusa, Chamaecyparis pisifera plantation
-  スギ・ヒノキ植林 (福岡県)
Cryptomeria japonica, Chamaecyparis obtusa plantation
-  スギ・ヒノキ・サワラ植林 (佐賀県)
Cryptomeria japonica, Chamaecyparis obtusa, Chamaecyparis pisifera plantation
-  スギ・ヒノキ・サワラ植林
Cryptomeria japonica, Chamaecyparis obtusa, Chamaecyparis pisifera plantation
-  スギ・ヒノキ・サワラ植林
Cryptomeria japonica, Chamaecyparis obtusa, Chamaecyparis pisifera plantation
-  31モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  61モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  43モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  41モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  42モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  41モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  42モウソウチク林
Phyllostachys heterocyclus f. pubescens forest
-  63 常緑果樹園
Evergreen orchard
-  常緑果樹園
Evergreen orchard
-  常緑果樹園
Evergreen orchard
- 常緑果樹園
Evergreen orchard

-  落葉果樹園
Deciduous orchard
-  落葉果樹園
Deciduous orchard
-  落葉果樹園
Deciduous orchard
-  畑地雑草群落
Field weed communities
-  畑地雑草群落
Field weed communities
-  畑地雑草群落
Field weed communities
-  39 牧草地 (人工草地)
Cultivated meadow
-  70 牧草地
Cultivated meadow
-  51 牧草地
Cultivated meadow
-  49 牧草地 (人工草地)
Cultivated meadow
-  49 牧草地 (人工草地)
Cultivated meadow
-  49 牧草地 (人工草地)
Cultivated meadow
-  49 牧草地 (人工草地)
Cultivated meadow
-  32 水田雑草群落
Paddy-field weed communities
-  水田雑草群落
Paddy-field weed communities
-  水田雑草群落 (イネクラス)
Paddy-field weed communities
-  水田雑草群落
Paddy-field weed communities

X. その他

-  市街地
Urban district with a few trees
-  市街地
Urban district with a few trees
-  市街地
Urban district with a few trees
-  市街地
Urban district with a few trees
-  43 緑の多い住宅地 (緑被率60%以上)
Urban and residential district with many trees
-  75 緑の多い住宅地
Urban and residential district with many trees
-  56 緑の多い住宅地
Urban and residential district with many trees
-  53 緑の多い住宅地
Urban and residential district with many trees
-  54 公園, 墓地等
Park, Graveyard etc.
-  緑の多い住宅地
Urban and residential district with many trees
-  46 造成地
Land constructed for residence and factory
-  78 造成地
Land constructed for residence and factory
-  59 造成地
Land constructed for residence and factory
-  56 造成地
Land constructed for residence and factory
-  57 採石場
Quarry
-  21 造成地
Land constructed for residence and factory
-  82 開放水域
Open water
-  開放水域
Open water
-  開放水域
Open water
-  開放水域
Open water

注1. 凡例の詳細については、「植生調査報告書」に掲載されている「凡例解説」を参照されたい。

注2. 凡例の学名及び英名は、環境庁が付したものである。

注3. 凡例表示例

福岡県の表示番号

 42 (佐賀県の表示番号に対する群集・群落の和名及び英名)

 74 (福岡県の表示番号に対する群集・群落の和名及び英名)

佐賀県の表示番号

図2.1.5-5(2)
自然環境保全基礎調査における
現存植生の分布の凡例

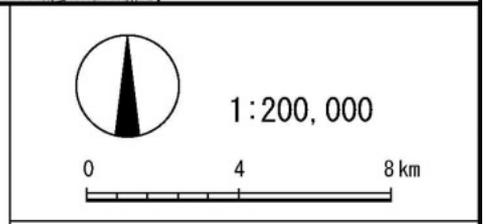
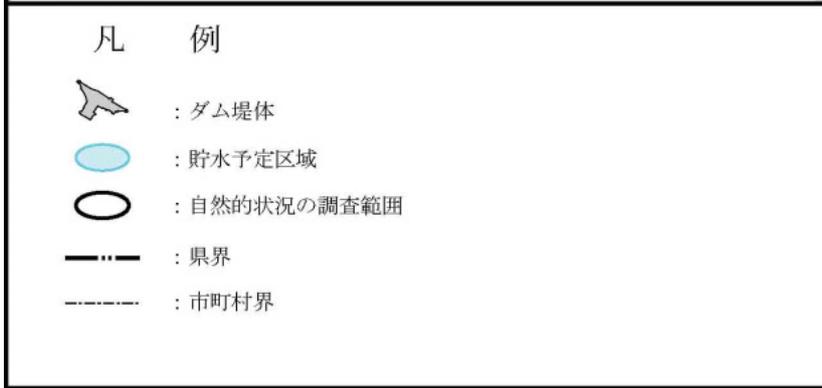
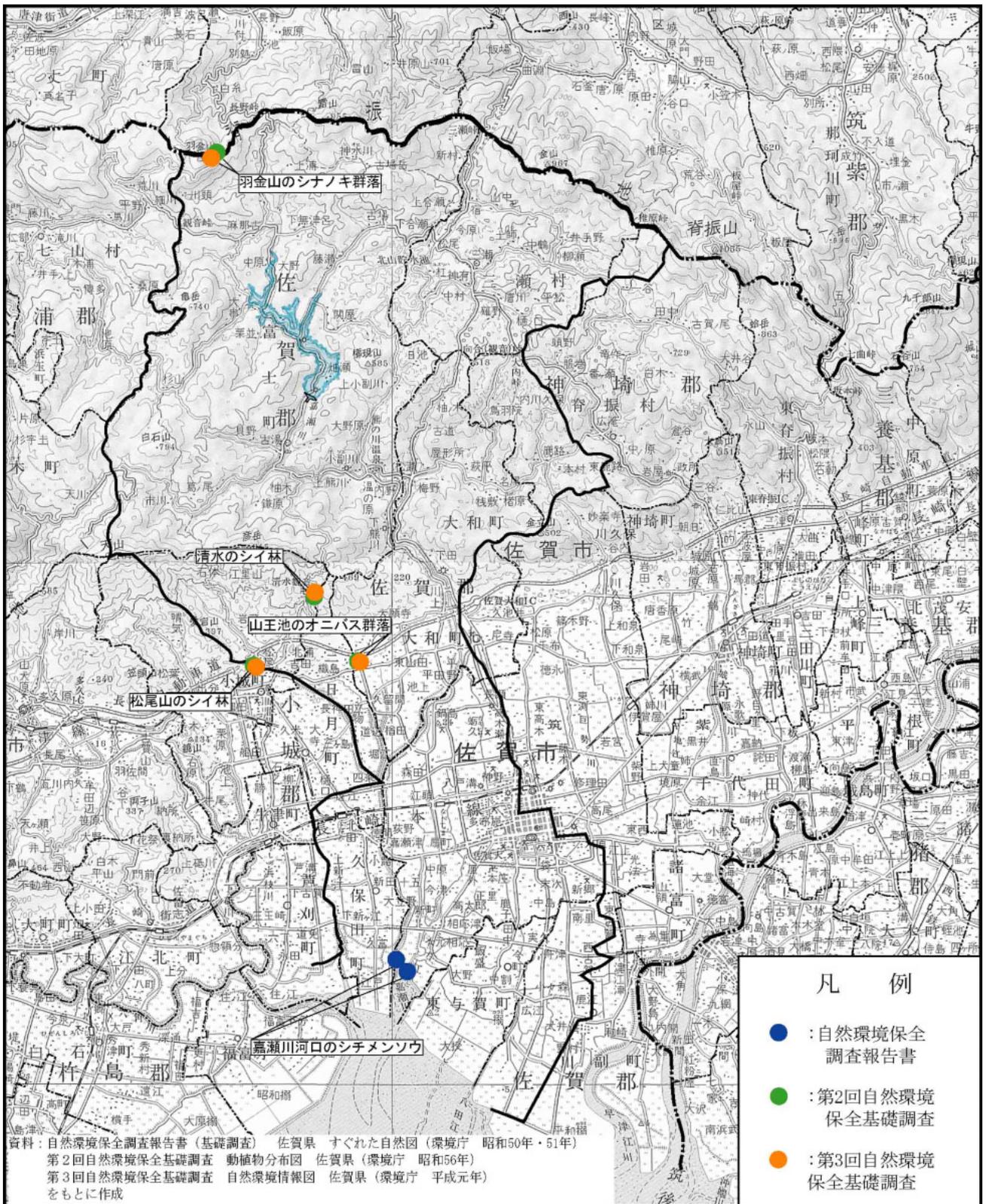


図2.1.5-6
 自然環境保全基礎調査における
 植物の分布

2) 植物相

嘉瀬川ダム周辺では、事業者の調査(第4章参照)によると、陸上植物、大型水生植物については、現地調査において164科1,242種、文献調査において16科22種、計164科1,242種の生育が確認された。このうち、丘陵地では、アカマツ、ツブラジイ、スタジイ、コナラ等が、河川敷ではタチヤナギ、ツルヨシ等の河川環境に見られる種が、樹林内ではラン等の樹林の林床に生育する種等が確認された。

なお、以下に示す重要な種及び群落を選定したところ、本調査では、嘉瀬川ダム周辺において、表2.1.5-8に示す50種が確認された。

- a.文化財保護法又は文化財保護条例に基づき指定された天然記念物
- b.絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号)に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- c.「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 8 植物 I(維管束植物)(環境庁 2000年7月)」、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 9 植物 II(維管束植物以外)(環境庁 2000年12月)」の掲載種
- d.「佐賀県の絶滅のおそれのある野生動植物 - レッドデータブックさが - (佐賀県環境政策局環境企画課 2000年12月)」の掲載種
- e.その他、専門家の意見等により、学術上又は希少性の観点から重要と認められる種

表 2.1.5-8 陸上植物等の重要な種

No	科名	種名	a 天然記念物	b 種の保存法	c レッドデータブック レッドリスト	d 佐賀県 レッドデータブック	e その他重要な種
1	ウキゴケ	ウキゴケ ¹			CR+E		
2		イチョウウキゴケ ²			CR+E		
3	ハナヤスリ	ナツノハナワラビ					*3
4	イノモトソウ	オオバノハチジョウシダ					*4
5	オシダ	ミドリカナワラビ					*5
6		ツクシイワヘゴ					*6
7	メシダ	シロヤマシダ					*7
8	ウラボシ	サジラン					*8
9		アオネカズラ					*9
10		オニグルミ					*10
11	スイレン	ヒメコウホネ			VU	VU	
12	ウマノスズクサ	サンヨウアオイ					*11
13		ウンゼンカンアオイ			VU	NT	
14	アブラナ	コンロンソウ				NT	*12
15		コイヌガラシ			NT		
16		アオベンケイ				NT	*13
17	ユキノシタ	チダケサシ				VU	*14
18		ネコノメソウ					*15
19		ウメバチソウ				VU	
20	ミソハギ	ミズマツバ			VU		
21	アリノトウグサ	フサモ				NT	
22	ウコギ	ヤマウコギ				NT	
23		トチバニンジン				VU	*16
24	ツツジ	ツクシシャクナゲ				NT	*17
25	ヤブコウジ	カラタチバケ				VU	
26	ナス	イガホオズキ				NT	
27	ゴマノハグサ	カワヂシャ			NT		*18
28	タヌキモ	ミミカキグサ				VU	
29	キキョウ	ツルギキョウ			VU	NT	
30	キク	カンサイタンポポ				VU	*19
31	トチカガミ	スプタ			VU	EN	
32		ミズオオバコ				NT	*20
33	ユリ	シライトソウ				NT	*21
34	ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ				VU	*22
35	ホシクサ	クロホシクサ			EN	EN	
36	イネ	サヤヌカグサ				VU	
37	ガマ	コガマ				NT	
38	カヤツリグサ	アブラシバ					*23
39		ビロードテンツキ				CR	
40	ラン	ムギラン			VU	VU	*24
41		エビネ			VU	VU	
42		ナツエビネ			VU	VU	*25
43		キエビネ			EN	EN	
44		キンラン			VU	NT	
45		シュンラン				NT	
46		ツレサギソウ				EN	
47		カヤラン				VU	*26
48		ナゴラン			CR	CR	
49		クモラン				VU	*27
50			オニノヤガラ属 ²⁸			EN	

- 注) 1.a: 文化財保護法又は文化財保護条例に基づく天然記念物
- 2.b: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づく国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- 3.c: 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 8 植物 I (維管束植物) (環境庁 2000 年 7 月)」、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 9 植物 II (維管束植物以外) (環境庁 2000 年 12 月)」の掲載種
CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 IA 類 EN: 絶滅危惧 IB 類 EN: 絶滅危惧 I 類種 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧
- 4.d: 「佐賀県の絶滅のおそれのある野生動植物 - レッドデータブックさが - (佐賀県環境政策局環境企画課 2000 年 12 月)」の掲載種
CR: 絶滅危惧 I 類種 EN: 絶滅危惧 I 類種(1) VU: 絶滅危惧 II 類種 NT: 準絶滅危惧種
- 5.e: その他、専門家の意見等により、学術上又は希少性の観点から重要と認められる種
6. *1 のウキゴケ、*2 のイチヨウウキゴケは、環境巡視で確認されており、その後重要な種調査を行っている。
- *3 のナツノハナワラビ、*4 のオオバノハチジョウシダ、*5 のミドリカナワラビ、*6 のツクシイワヘゴ、*7 のシロヤマシダ、*8 のサジラン、*9 のアオネカズラ、*10 のオニグルミ、*11 のサンヨウアオイ及び*15 のネコノメソウは、「自生種であり、かつ嘉瀬川流域周辺で数が少ない種」という専門家の指摘により、植物の重要な種に相当すると判断したものである。
- *12 のコンロンソウ、*13 のアオベンケイ、*16 のトチパニンジン、*17 のツクシシャクナゲ、*18 のカワチシャ、*19 のカンサイタンポポ、*20 のミズオオバコ、*21 のシライトソウ、*22 のヒナノシャクジョウ、*24 のムギラン、*25 のナツエビネ、*26 のカヤラン及び*27 のクモランは、「県内で希少」という専門家の指摘により、植物の重要な種に相当すると判断したものである。
- *14 のチダケサシは、「佐賀県で唯一の確認例」という専門家の指摘により、植物の重要な種に相当すると判断したものである。
- *23 のアブラシバは、「佐賀県で初の確認」という専門家の指摘により、植物の重要な種に相当すると判断したものである。
- *28 のオニノヤガラ属は、「佐賀県で初の確認」という専門家の指摘により、植物の重要な種に相当すると判断したものである。オニノヤガラ属は、調査時に開花しておらず、種までの同定ができていない。しかし、確認した個体はアキザキヤツシロランもしくはクロヤツシロランと考えられ、クロヤツシロランであれば「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 8 植物 I (維管束植物) (環境庁 2000 年 7 月)」の EN に該当する。

(2) 付着藻類

嘉瀬川ダム周辺では、事業者の調査(第4章参照)によると、現地調査において6綱122種、文献調査において3綱244種、計6綱287種の生育が確認された。確認種の多くは珪藻綱であった。

なお、以下に示す重要な種を選定したが、本調査では、嘉瀬川ダム周辺においてこれらの重要な種は確認されなかった。

- a. 文化財保護法又は文化財保護条例に基づき指定された天然記念物
- b. 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 9植物II(維管束植物以外)(環境庁 2000年12月)」の掲載種
- c. 「佐賀県の絶滅のおそれのある野生動植物 - レッドデータブックさが - (佐賀県環境政策局環境企画課 2000年12月)」の掲載種